

2022 年度第 1 四半期業績発表

2022 年 5 月 9 日

【確定】エボニック、第 1 四半期の業績が予想を大幅に上回る

- ・ 調整後 EBITDA は 25%増の 7.35 億ユーロ
- ・ コストの増加を価格に反映
- ・ 予防策として棚卸資産を増加

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は、資本市場の予想を大きく上回る 2022 年の好調なスタートを切りました。4 月 21 日に発表した速報値の通り、第 1 四半期の調整後 EBITDA(支払利息・税金・減価償却費控除前利益)は 7.35 億ユーロに増加しました。アナリストの予測値は、約 6.52 億ユーロでした。

取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「すべての事業部門で、販売価格を調整することができたため、変動費の増加分と相殺することができました。ビジネス環境は不確実性とボトルネックに見舞われましたが、エボニックは良いスタートを切ることができました」とコメントしています。

主にニュートリション&ケア部門とパフォーマンスマテリアルズ部門が現在の成長の原動力となっています。飼料用必須アミノ酸事業は、需要の増加と販売価格の上昇の恩恵を受けました。シンガポール、アントワープ、アラバマに世界的規模の生産拠点を展開することで、エボニックはアジア、ヨーロッパ、アメリカへ高品質かつ費用対効果に優れた製品提供を実現しています。また、ドラッグデリバリーシステムと化粧品向けアクティブ原料も大幅な増益に貢献しました。

パフォーマンスマテリアルズ部門は、C₄ 製品の需要増と販売価格上昇が寄与しました。現状では、ナフサの価格に関する条項が、原油価格上昇に対するリスクヘッジとして機能しています。

こうした動きはエボニックの売上高にも反映されており、1~3 月期の売上高は前年同期比 34%増の 45 億ユーロ、調整後純利益は前年同期比 49%増の 3.56 億ユーロとなりました。

第 1 四半期のフリーキャッシュフローは、前年同期の 3.12 億ユーロに対し、1.33 億ユーロとなりました。最高財務責任者(CFO)のウテ・ヴォルフ(Ute Wolf)は、「コストの上昇と、とりわけ原材料費の高騰により、当社の棚卸資産

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

の評価が上昇しました。さらに、予防策として棚卸資産を増加させたため、今後のサプライチェーンの混乱に対する準備は整っています」と述べています。

世界経済の成長予測が低下したことを受け、エボニックは 2022 年全体の見通しの見直しを行いました。クルマン(Kullmann)は、「私たちは、今までにない経済不安の時代に生きています。エネルギー価格の高騰と原材料の供給に関する大きな不確実性が、産業と経済全体に重くのしかかっています」と述べています。

エボニックは、世界経済の成長率を現在 3.3 パーセントと予測しています。クルマン(Kullmann)は、「当社の年初の好調なスタートを踏まえ、また地政学的状況がこれ以上悪化しないという前提で、通年の見通しを確定します」とコメントしています。調整後 EBITDA は、25 億ユーロから 26 億ユーロ、売上高は 155 億ユーロから 165 億ユーロの間となる見込みです。2021 年の調整後 EBITDA は 23.8 億ユーロ、売上高は 150 億ユーロでした。

事業部門ごとの業績

スペシャルティアディティブス: 売上高は前年同期比 16%増の 10.5 億ユーロでした。コスト高を補うための販売価格の上昇が同部門の売上を押し上げました。しかし、建設、コーティング、再生可能エネルギー産業向けの製品は、世界的なサプライチェーンの問題もあり、需要が減少しました。ポリウレタンフォーム用、塗料用、ワニス用添加剤は販売価格の上昇により大幅な増収を達成しました。自動車業界向けの添加剤の売上も、堅調な需要と価格の改善により増加しました。調整後 EBITDA は、販売量のわずかな減少と物流コストの増加により、8%減の 2.52 億ユーロとなりました。

ニュートリション&ケア: 売上高は前年同期比 33%増の 10.4 億ユーロでした。必須アミノ酸は引き続き世界的に高い需要があり、大幅に売上を伸ばしました。ヘルスケア部およびケアソリューションズ部の製品も売上を大きく増加させています。特に、化粧品用途向けのドラッグデリバリーシステムや機能性成分のビジネスは、非常に好調な売上を記録しました。調整後 EBITDA は、昨年比 55%増の 2.22 億ユーロとなりました。これは主に値上げによるものです。

スマートマテリアルズ: 売上高は前年同期比 30%増の 11.8 億ユーロとなりました。無機製品は大幅な増収を達成しました。需要が好調に推移したことで、コスト上昇分を転嫁した販売価格の引き上げを行うことができました。環境にやさしい「エコソリューション」製品は著しい売上成長を見せました。ポリマーは、販売価格の改善による需要の大幅な増加の恩恵を受け、前年を大幅に

上回る売上に貢献しました。調整後 EBITDA は、14%増の 1.97 億ユーロとなりました。

パフォーマンスマテリアルズ: 売上高は前年同期比 63%増の 9.47 億ユーロとなりました。C₄ 製品の需要が高く、販売価格の大幅な上昇にも関わらず、売上は大幅に増加しました。吸水性樹脂事業は、需要の高まりと販売価格の上昇により大幅な増収を記録しました。調整後 EBITDA は、主に製品利益率の改善により、4,200 万ユーロから 9,700 万ユーロに増加しました。

エボニック・グループ: 損益計算書(抜粋)

(単位: 百万ユーロ)	第 1 四半期		
	2021	2022	増減(%)
売上高	3,358	4,498	34
調整後 EBITDA	588	735	25
調整後 EBIT	336	472	40
調整	-28	-16	
純金融費用	-21	-12	
税引前利益(継続事業)	287	444	55
法人税等	-88	-126	
税引後利益(継続事業)	199	318	60
税引後利益(非継続事業)	-7	-	
税引後利益	192	318	66
非支配持分	6	4	
当期純利益	186	314	69
調整後当期純利益	239	356	49

各事業部門の業績(第1四半期)

(単位: 百万ユーロ)	売上			調整後 EBITDA		
	2021	2022	増減(%)	2021	2022	増減(%)
スペシャルティアディティブス	907	1,049	16	273	252	-8
ニュートリション&ケア	780	1,038	33	143	222	55
スマートマテリアルズ	909	1,181	30	173	197	14
パフォーマンスマテリアルズ	580	947	63	42	97	131
テクノロジー&インフラストラクチャー	169	271	60	29	35	21
その他事業	13	12	-8	-72	-68	6
グループ全体	3,358	4,498	34	588	735	25

エボニック・グループの事業部門別従業員数

	Dec. 31, 2021	Mar. 31, 2022
スペシャルティアディティブス	3,693	3,742
ニュートリション&ケア	5,453	5,540
スマートマテリアルズ	7,742	7,826
パフォーマンスマテリアルズ	1,964	1,975
テクノロジー&インフラストラクチャー	8,152	8,044
その他事業	6,000	6,024
グループ全体	33,004	33,151

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2021年度は、150億ユーロの売上、23.8億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、33,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2021年度は、34.1億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2022年5月6日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)